

平成 29 年 9 月吉日
海外事業担当役員様

株式会社自動車部品会館
協賛：(一社) 日本自動車部品工業会関東支部

【シリーズ 成功する海外子会社の経営管理】(第 8 回目)
中国のビジネスリスクを踏まえた

「中国海外子会社の経営管理とコンプライアンス体制他」
～中国拠点の内部監査・内部統制事例、コンプライアンス体制等を中心に～
のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

日本企業が海外事業で成功するためには、日本では予想できない海外ビジネスリスクへの対応と海外事業の適確な経営管理が重要となってきました。海外子会社を取り巻く最新のビジネスリスクと日系企業の経営課題とその経営管理の基礎的事項を理解され、自社の海外事業を成功に導くための気付きとノウハウを参加者の方々に得ていただく事を目的の研修会を 【シリーズ 成功する海外子会社の経営管理】(第 8 回目) として今回は中国のビジネスリスクを踏まえた「中国海外子会社の経営管理とコンプライアンス体制他」～中国拠点の内部監査・内部統制事例、コンプライアンス体制等を中心に～のテーマにて平成 29 年 11 月 8 日(水)に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成 29 年 10 月 31 日(火)までにお申込下さいますようご案内申し上げます。

敬 具

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第8回目）
「中国海外子会社の経営管理とコンプライアンス体制他」

■テーマ

中国海外子会社の経営管理とコンプライアンス体制他

■講師

コンサルビューション株式会社

代表取締役社長 高原彦二郎 氏

パートナーコンサルタント 鶴谷 信之 氏

世澤法律事務所

パートナー/中国弁護士 殷 宏 亮 氏（中国弁護士）

■日程

開催日時：平成 29 年 11 月 8 日（水） 午前 10 時～午後 5 時まで

■開催場所

自動車部品会館 第 1 会議室（6 階）

東京都港区高輪 1-16-15（地図参照） 電話：03-5422-6351

■受講料

30,000 円【税込】（テキスト・昼食代を含む）

JAPIA 会員会社は 18,000 円【税込】

◎申込要領

① 受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名および氏名を明記して、**10 月 31 日（火）（必着）**までに FAX にてお申込ください。折り返し受付票を FAX いたします。

もし、申込み後に参加を取り消す場合は、必ずご連絡ください。

② 受講料の請求書を郵送いたしますので、銀行振込にて**10 月 31 日（水）**までにお支払いください（振込手数料は貴社でご負担いただきますようお願いいたします）。

③ 講希望者が募集人数（**20 名**）になり次第、締め切らせていただきます。

※申込み後のキャンセルは 10 月 31 日（水）までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

※受講希望者が少数の場合は中止となる場合がありますのでご了承ください。

◎申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島

電話：03-5422-6351 Eメール：ijjima@japia.or.jp

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第8回目）
「中国海外子会社の経営管理とコンプライアンス体制他」

I. 研修関連

▼研修の趣旨

日本企業が海外事業で成功するためには、進出国でのビジネスチャンスの獲得へのチャレンジとともに、日本では予想しがたいビジネスリスクやクライシスへの対応が不可欠となります。

これら海外事業で発生するビジネスリスクやクライシスに的確に対応するためには、進出国の固有リスクへの理解はもとより、労務リスク、知財リスク、売掛回収リスク、不正リスク等、日本と異なるオペレーショナルリスク対応や、駐在員の誘拐等のクライシス対応に役立つ知識・ノウハウを本社・現地子会社が一体となって有し、問題発生時に迅速に対応する事が求められます。

本セミナーでは一年間のシリーズを通して、アセアン、中国、欧州・アフリカ・中東の海外子会社を取り巻く最新のビジネスリスクと日系企業の経営課題とその経営管理の基礎的手法を理解し、自社の海外事業を成功に導くための気付きとノウハウを参加者の方々に得て頂く事を目的としています。

今回は中国のビジネスリスクを踏まえて、本社で海外事業の管理部門として対応すべき中国リスクとそのリスクマネジメント手法、特に、内部監査、内部統制システムの構築手法などを学ぶことで、海外事業の経営管理（ガバナンス）の考え方と中国のビジネスリスク対応、特に、内部監査、内部統制システムの構築手法の基礎知識を得る事を目的としています。

また、本社に大きな影響を与える中国でのコンプライアンス体制についても、その必要性、あり方についても中国人弁護士より内部統制の観点から解説をさせていただきます。

▼研修内容

第一部 中国のビジネスリスクと子会社管理について（1時間）

1. 中国ビジネスリスクとその対応
2. 中国子会社の経営管理のあり方
3. 中国ビジネスリスク事例

第二部 中国内部監査、内部監査の手法について（1時間）

1. 中国内部監査の手法（実例紹介）
2. 中国内部統制の手法

第三部 中国におけるコンプライアンス体制構築（1時間）

1. 中国におけるコンプライアンス体制の在りかた
2. コンプライアンス体制のチェックリストとその活用方法
3. 実例

第四部 中国不正防止のための経営管理の手法（2時間）

1. 不正防止の体制構築に関して（人事制度、内部規定類等を中心に）
2. グループワーク（1時間半） - 不正防止の体制構築を念頭に -

II. 講師紹介

高原彦二郎（第一部、第二部）

コンサルティング株式会社 代表取締役 中小企業診断士

1980年に出光興産(株)入社。1985年から出光興産(株)ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から出光興産(株)海外部海外課課長を歴任後に独立。出光興産在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築など23カ国の海外子会社経営管理等を経験。2005年7月にコンサルティング株式会社を設立し、中国、アセアンを中心に、日系企業の経営内部監査、不正監査、内部統制システム等、会計、税務、労務、知財、債権回収、撤退、リストラ等の日本企業のビジネス・リスクマネジメントを手がける。

ジェトロの中国リスクマネジメント委員会委員、中小企業庁・中小機構の海外事業評価委員会委員等を歴任。「中国進出企業の労務リスクマネジメント(日本経済新聞社出版)」など、著書多数。

殷 宏亮氏（イン コウリョウ：第三部）

世澤法律事務所 パートナー

中国弁護士。2002年、中国・吉林大学法学部卒業。2007年、一橋大学大学院卒業。2007年4月～2014年4月、三井化学(株)本社法務部で中国弁護士として中国向け案件全般を担当。2014年5月より世澤法律事務所にカウンセラーとして入所。主な業務分野は、外商直接投資、M&A/企業再編、一般企業法務、独占禁止法及び企業コンプライアンス。

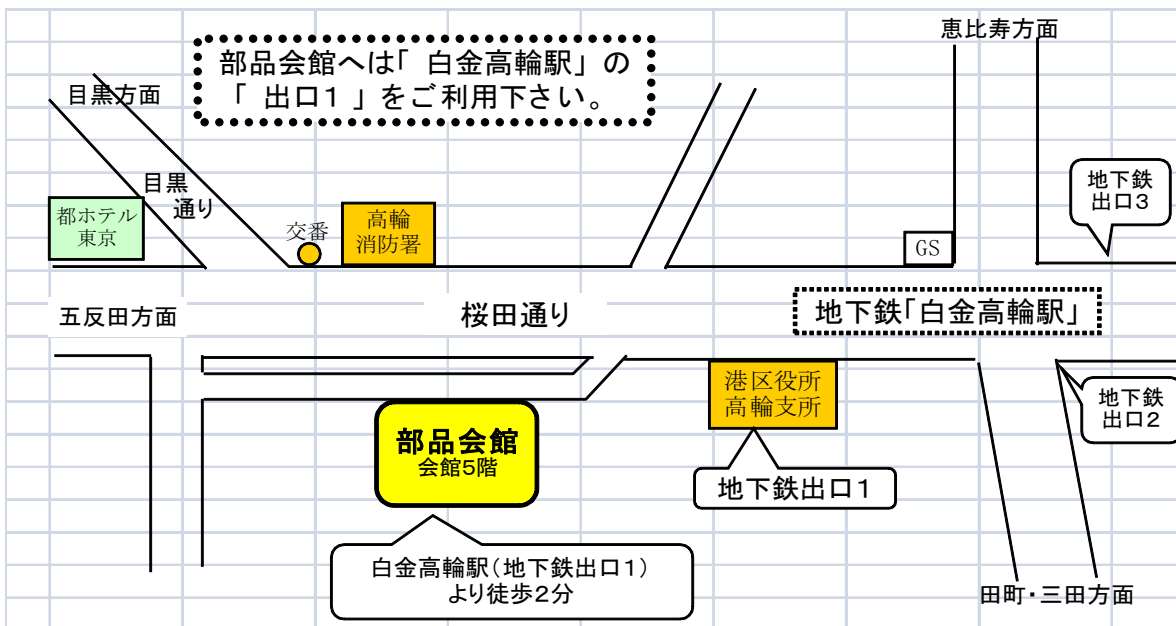
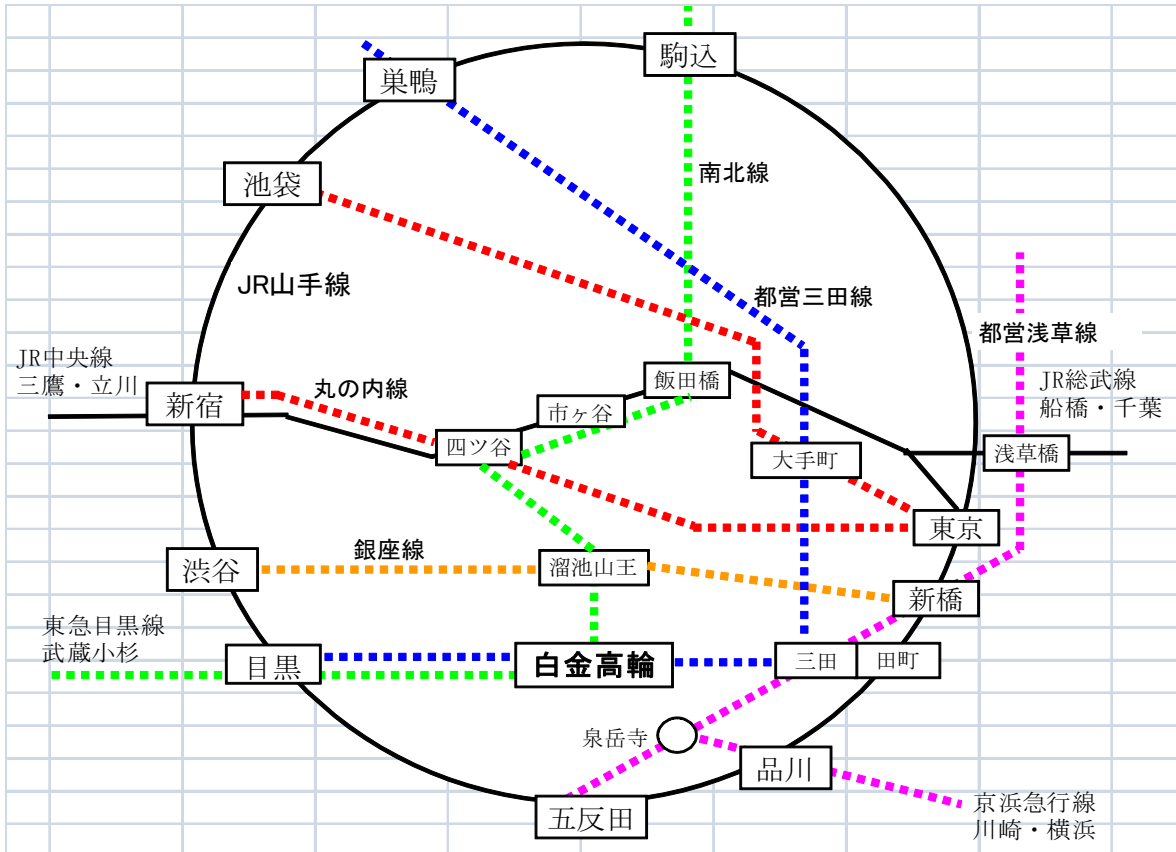
鶴谷 信之（第四部）

コンサルビューション株式会社 パートナーコンサルタント

都市銀行でロサンゼルス・上海等の駐在を経験。海外拠点での経営管理、労務管理、債権回収他、海外拠点におけるリスクソリューションを経験。銀行退職後、自動車部品企業の管理本部長等を歴任。現在はコンサルビューション株式会社のパートナーコンサルタントとして、日系企業の中国・アジア拠点における経営管理、組織管理、労務管理、不正対応のコンサルティングの他、債権回収等を海外日系企業でソリューション提供している。

(株)自動車部品会館ご案内図

部品会館の最寄り駅は、地下鉄南北線・都営三田線の「白金高輪」です。



FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

10月18日

成功する海外子会社の経営管理（第8回目）

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。